



新しい生産システムと市場における企業の安定化

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

インダストリー4.0とITシステムにおける生産の機械化とデータ管理における生産システムの自動化への転換は、生産効率性の向上とともに、新しい企業における生産基準への転換を与える。

これらはITシステムにおける企業の総括やシステム化とともに、企業効率性の大きな向上を与え、これらはコスト削減と作業のシンプル化とともに、企業における作業要求の統一や単一化を与えるものである。

これらは新しい企業環境がその快適性や労働基準、創造性と開発デザインにおける新しい現実とともに、既存技術やソフト資産の活用において、市場における企業参加の安定化を実現できるのである。

これらは製品力と価格競争力において、これら企業の効率化は、利益率の向上や、企業の健全かと安定化を模索できるものであり、これらは新たなグローバル市場への参加における大きな企業要求として理解を求められると考える。

これらは時代要求における新しい企業経営環境と生産基準への転換における優れた企業の利益環境の構築への転換であり、これらは新しい自己基準への移行において可能なのである。

これらはシンプル化であり、これらは高い効率性への転換を実現できるものであり、アウトソーシングなどの活用は、企業のスリム化における高い価格競争力を実現できると考える。

これら新しい企業環境は、企業の新しい技術デザイン開発環境とともに、企業が新しい市場要求である、技術デザイン基準への到達を実現し、企業内容における時代基準における企業経営は新しい市場基準への参加という現実を可能とできるのである。

これらは設備投資への資本力が要求されることとともに、企業における時代基準における新しい自己構築への必要性であると考えられるものである。